

平成 21 年度 (2009 年度)

第 23 回 ノバルティス研究奨励金 応募要項

財団法人ノバルティス科学振興財団
〒106-0031 東京都港区西麻布 4-16-13 西麻布 28 森ビル 10F
電話：03-5464-1460 / FAX：03-5467-3055
E-mail：novartisfound.japan@novartis.com
URL：http://www.novartisfound.or.jp

1. 奨励金の趣旨

生物・生命科学およびそれに関連する化学の領域における創造的な研究に対し助成する。

2. 助成金額

助成金額は、1 件 100 万円とし、約 30 件の助成を行う。

3. 助成期間

助成期間は、平成 22 年 (2010 年) 4 月 1 日～平成 23 年 (2011 年) 3 月 31 日の 1 年間とする。
延長は認めない。

4. 申請者の資格等

- (1) 日本国内で行われる研究を助成する。申請者は原則として、博士号を有する研究者 (2010 年 3 月末までに取得見込みを含む)。国籍は問わない。
- (2) 申請者の単独研究、または申請者が中心になって行っている場合は共同研究でもよい。
- (3) 当研究奨励金を受領した研究者は、受領後 3 ヶ年を経過していれば再び応募することができる。この場合、前回受領時とは研究目的を異にしていること。また、当研究奨励金を過去に受領した研究者が共同研究者になっている場合は、当該共同研究者の受領時の研究目的とは異なる研究であること。
- (4) 当財団の選考委員の研究室に所属する研究者、および選考委員を共同研究者とする研究者は、申請者となれない。

5. 推薦者

- (1) 当財団の指定する大学・研究機関の関係学長、学部長、大学院研究科長、関係研究所長および関係病院長。
- (2) 当財団の現任ならびに前任の理事、評議員。

6. 推薦件数

1 推薦者から 1 件に限る。

7. 申請方法

ノバルティス科学振興財団ホームページ (www.novartisfound.or.jp) からダウンロードした所定の用紙、またはそのコピーに必要な事項を記入する。

推薦書は、推薦者が学長、学部長、研究所長等の場合は、それぞれ公印を所定の箇所に捺印し、平成 21 年 (2009 年) 9 月 15 日 (火) 必着で、推薦書と申請書類を当財団宛に送付する (一部)。

併せて、申請書類と推薦書を電子ファイルとしてCD・DVDまたはフロッピーディスクで送付する。

(電子ファイルには、推薦者の氏名・機関名・役職・所在地・電話のみ記入。印は不要。PDF 形式にはしない)

8. 申請受付期間

平成 21 年 (2009 年) 7 月 ~ 平成 21 年 (2009 年) 9 月 15 日 (火) 必着

9. 申請書類の記載方法

(1) 申請者は別紙「申請書記入および提出のマニュアル」を参考に書類を作成すること。

(2) 申請書 1 ページ目の「研究課題名」欄に、該当する研究分野 (必要な場合には複数) を、後掲の研究分野分類表に従って記入すること。

(3) 外国人申請者は英文の申請書でも可。ただし、日本語の応募書式の 1 ページ目を添付すること。

10. 選考方法

選考委員会 (平成 21 年 12 月予定) において選考した後、評議員会の承認を求め、理事会で決定する (平成 22 年 2 月下旬頃)。

11. 採否の通知

平成 22 年 (2010 年) 2 月下旬頃に、採否を推薦者、申請者の双方に通知する。

12. 奨励金の交付

平成 22 年 (2010 年) 4 月中旬頃に、指定の銀行口座に振り込み。

各大学で定められている助成金取扱い規定を参照すること。

委任経理金にする場合は、その手続きを行うこと。

13. 奨励金の使途

奨励金は、応募用紙記載の通り使用することを原則とする。

使途を変更する場合は、当財団理事長の承認を求めること。

奨励金は、贈呈の対象となっている研究の遂行以外には使用できない。

奨励金の対象となっている研究の内容に、重要な変更が生ずる場合は、速やかに当財団事務局に連絡すること。

当財団では、応募者が所属する組織の間接経費、一般管理費は、助成の対象として認めていない。

14. 研究成果および会計報告

本奨励金受領者は、研究成果 (英文) と会計報告 (和文) を、それぞれ平成 23 年 5 月末までに当財団に報告する。

研究成果および会計の報告方法は、平成 23 年 4 月頃、当財団事務局より通知する。
会計報告に関して、領収書は、提出は求めないが、使用后 5 年間は保管すること。

15. 研究成果の公表、刊行

本奨励金を使用した研究成果を公表する場合は、財団法人ノバルティス科学振興財団（英文の場合は The Novartis Foundation (Japan) for the Promotion of Science）から奨励金を受けた旨を明記し、刊行物の別刷り等を一部当財団事務局へ送付すること。

研究の概要（概要は和文、発表文献は英文）は、文部科学省学術情報センターの「民間助成成果概要データベース」に登録され、多くの研究者が情報検索サービスで利用できるようにする。

16. その他

贈呈対象者として、相応しくない行為があったときは、助成を取り止めたり、研究奨励金の返還を求めることがある。

選考や採否通知の日程は、変更されることがある。

贈呈対象者氏名、所属機関、研究課題等は、報道機関、財団ホームページ、年報等で公表される。

[申請書の記入方法に関して]

1. 全ページにわたり日本語のフォントはできるだけ明朝体 10 p でご記入ください。
英文は特に指定いたしません。
2. No. 3 研究課題 (P. 1) :
[研究課題が該当する研究分野]は、応募申請書の 6 ページにある表の中から該当するものを選び記号で記入してください。
3. No. 13 主たる研究者の論文リスト (P. 5) :
過去 5 年間の論文を漏れのないようにご記入ください。
スペースが不足の場合は、別紙を添付してください。
代表的な論文のコピーや別刷りをお送りください (3 篇以内)。
4. 記入事項が多く応募書類のオリジナルのフォームが崩れる場合は、読みやすくフォームを変更してもかまいません。
5. 諸連絡を E-mail で行いますので、E-mail アドレスをご記入願います。

[提出時の注意]

1. 申請書類は片面コピーで、ホチキス止めはしないで提出してください。
2. 添付の論文はホチキス等でとめてください。
3. 推薦書に公印のないものは受け付けられませんのでご注意ください。
ただし、公印が得られない場合は、その理由を記入してください。
財団関係の前・現、理事・評議員の場合は、個人の印鑑を捺印してください
4. 申請書類及び推薦書をCD・DVDやフロッピーディスクで送付する場合、必要事項を書いたラベル等をつけてください。（必要事項：学校（病院名）・所属・氏名）

①電子ファイルの推薦書の推薦者の欄に公印は必要なく、推薦者名、所属機関名、役職、住所の記入のみしてください。

②デジタル情報の申請書は選考のための資料に使うものですので財団で変更をすることはありません。

PDF ファイル形式にはしないでご提出ください。

③Mac のOSを使用の方は、できるだけCDでご提出ください。

* CD・DVD またはフロッピーディスクで頂くデジタル情報は、申請書受理後の事務処理を円滑に進める目的で使用いたします。ご趣旨をご理解いただき、PDF ファイル形式にはせずにお送り願います。ご協力をお願い致します。

提出の際に、下記のものが在中されているかご確認の上ご送付ください

☆ 推薦書

☆ 申請書

☆ 主たる論文のコピー（3点以内）

☆ 推薦書・申請書の電子ファイルとしてCD（DVD・フロッピー）